

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【公開番号】特開 2002-374129 (P2002-374129A)
【公開日】平成 14 年 12 月 26 日 (2002.12.26)
【出願番号】特願 2002-101735 (P2002-101735)
【国際特許分類第 7 版】
H 0 3 F 1/32
【F I】
H 0 3 F 1/32

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 3 月 30 日 (2005.3.30)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項 2 4
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項 2 4】

請求項 2 3 記載のプリディストーション歪み補償方法の、入力されてくる入力信号を分配する信号分配ステップと、前記分配された信号の内の一方の信号を利用して歪み信号を発生させる歪み信号発生ステップと、前記分配された信号の内の他方の信号と前記発生させられた歪み信号とを合成する信号合成ステップと、前記合成された信号を増幅し出力信号を出力する信号増幅ステップと、前記歪み信号発生ステップにおいて利用される入力電力および / またはバイアス電圧を、(1) 前記歪み信号発生ステップにおいて発生させられる歪み信号に含まれる所定の周波数成分の信号振幅の相違の程度と前記信号増幅ステップにおいて発生させられる歪み信号に含まれる前記所定の周波数成分の信号振幅の相違の程度とが所定の関係を有する、および / または (2) 前記歪み信号発生ステップにおいて発生させられる歪み信号に含まれる前記所定の周波数成分の位相の差と前記信号増幅ステップにおいて発生させられる歪み信号に含まれる前記所定の周波数成分の位相の差とが所定の関係を有するように制御する制御ステップとをコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 3 7】

第 2 4 の本発明 (請求項 2 4 に対応) は、第 2 3 の本発明のプリディストーション歪み補償方法の、入力されてくる入力信号を分配する信号分配ステップと、前記分配された信号の内の一方の信号を利用して歪み信号を発生させる歪み信号発生ステップと、前記分配された信号の内の他方の信号と前記発生させられた歪み信号とを合成する信号合成ステップと、前記合成された信号を増幅し出力信号を出力する信号増幅ステップと、前記歪み信号発生ステップにおいて利用される入力電力および / またはバイアス電圧を、(1) 前記歪み信号発生ステップにおいて発生させられる歪み信号に含まれる所定の周波数成分の信号振幅の相違の程度と前記信号増幅ステップにおいて発生させられる歪み信号に含まれる前記所定の周波数成分の信号振幅の相違の程度とが所定の関係を有する、および / または (2) 前記歪み信号発生ステップにおいて発生させられる歪み信号に含まれる前記所定の周波数成分の位相の差と前記信号増幅ステップにおいて発生させられる歪み信号に含まれ

る前記所定の周波数成分の位相の差とが所定の関係を有するように制御する制御ステップとをコンピュータに実行させるためのプログラムである。